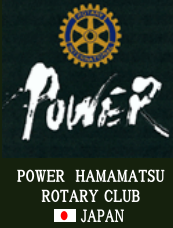


国際0-列-第2620地区
静岡第5グループ



週報 パワー浜松ロータリークラブ

新しい流れを、知恵を集めて

RI 会長 シェカール・メータ/第 2620 地区ガバナー 小林聡一郎 /会長 高貝 亮 /幹事 山下俊彦
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松内 Tel:053-452-0800
Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp
創立：2002 年 10 月 22 日 認証伝達式：2003 年 4 月 29 日 スポンサークラブ：浜松中 R C



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



第895回例会5月31日(火)AM7:30~8:30

- 会場：オークラクトシティホテル浜松 3 階 チェルシーの間
- 司会：安間利広 寺田洋平
- 点鐘：高貝 亮 ■週報：青山素久
- ロータリーソング：「希望のエネルギー」（※音楽のみ）
- ゲスト：岡三証券株式会社 投資情報部部长 小川佳紀 様
米山記念奨学生 陳俊達さん

出席報告/スマイル報告

会員数 74 名 (内出席免除会員 3 名)

出席数 64 名 出席率 88.89%

高貝亮・山下俊彦 原田道子
会員維持増強委員会 坂井光蔵
坂井光蔵・松本由紀彦 大石莉帆
石津真実

会長挨拶

先日、昨年私の事務所で修習していた元司法修習生が挨拶に来てくれました。裁判官に内定し、5月半ばから広島地裁で勤務を開始しています。医師や歯科医師、薬剤師などの資格は、大学で所定の過程を学んで受験資格を得た上で、それぞれの国家試験を受ける必要がありますが、弁護士、裁判官、検察官などになる資格の法曹資格は、試験を受けるだけで得られる資格でした。

今では変わっているところもありますが、当時は、5月の第2日曜日母の日に短答式という3科目のマークシートの試験があり、7月の海の日あたりに2日間にわたって6科目各2時間の論文試験があり、これに合格すると10月の半ばに口述試験がありました。

短答式は、当時の倍率でだいたい6~7倍。1999年に初めて受け落ちましたが、翌年には、合格することができました。もっとも、次の論文試験は6~7000人くらいの中から1000人ちょっとに絞り込まれる試験でしたが不合格になりました。

2001年、3年目の受験で論文試験に合格しました。短答式や論文試験とちがって、口述試験は10人中9人ぐらいは合格する試験なので、論文試験に合格すれば最終合格したようなものかと思っていました。9月の終わりに論文合格を知ると、口述試験まではそこから2週間、当時は会社勤めをしていましたが、上司に報告すると有給休暇をいただくことができ、会社を休んで準備しました。

口述試験は、ディズニーランドの近くの法務省の研修所で刑事系、民事系、憲法の3科目につき1科目15~20分くらいずつ口頭でいろいろ聞かれる試験です。時間をかけて答案を作成できる論文試験と違って、あやふやな知識は口頭で聞かれると途端にボロがでます。3科目いずれの科目でも大きな失敗を重ね、これはだめだったな、と自覚していましたが、周囲の人は、まさか口述に落ちることはないだろうと慰めてくれました。

10月半ばの最終合格発表で不合格を知り、覚悟していたとはいえ、やはり、落ち込みました。口述試験に落ちると司法試験予備校から電話がかかってきて、口述ゼミといって同じ境遇の仲間と勉強する環境を準備してくれるということがありました。

司法試験では、短答試験や論文試験に落ちる人はたくさんいますが、口述試験に落ちる人は珍しく、この1年間は、本当につらく苦しい経験でした。翌年の6月、会社を辞めて口述試験に専念しました。これまでにないぐらいに勉強した時期でもありました。当時切磋琢磨した口述ゼミの仲間は、同じ辛さを経験した仲間だけに大変親しい友人になりました。

自身が辛い思いをしたことは、その後、弁護士になって、辛い思いを抱えて相談に来られる方に親身に対応できる素地になったとも思います。辛かったけれど、自分の人生において、その後の糧となる大切な時間だったと感じています。



幹事報告

①以前当クラブの例会で卓話を行なっていただいた、お二人から著作物が発行されたというお知らせが届いていますのでご紹介します。

長谷川年度に卓話いただきました名古屋大学の木俣元一教授「ゴシック新論 排除されたものの考古学」名古屋大学出版会より出版されています。税込 8800 円です。

もうひとかたは、小田木年度に卓話いただいた朝日新聞の長谷川智君の「ホンダとトヨタとニッポンの物語 宗一郎と喜一郎」です。こちらは税込 1650 円です。よろしければ、ご購入願います。

②高貝会長にポール・ハリス・フェローバッジが届きました。

ポール・ハリス・フェローとは、ロータリー財団へ 1,000 ドル以上寄付した方を称える認証です。

今回の高貝会長の認証はマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。

こちらは個人寄付総額が 2,000 ドル以上に達した方を称える認証です。記念にサファイヤ付きのピンバッジが贈呈されます。おめでとうございます。

委員会報告

■社会奉仕部会 伊藤勝人さん

6/11 に実施する松の植栽の草刈りの集合時間は会員の皆さんは 8 : 30、部会メンバーは 8 : 00 になります。今回は「坪井」「篠原」2 会場での実施になります。詳細はメールにてご案内します。熱中症対策を忘れずにご参加願います。

■ゴルフ同好会 河村公隆さん

6/19 に本年度の最終青空例会を実施いたします。本日が締め切りとなります。あと 2 名ほど空いておりますのでふるってご参加の程よろしくお願いたします。

議事

『今後の日米株式相場展望と投資戦略』

岡三証券株式会社

投資情報部長 小川佳紀

大北誠二新会員の同僚であり、メディアでもご活躍の小川様による日米の株式相場について卓話をいただきました。

(担当：会員維持増強委員会)



◆米景気がインフレや金融引き締め強化に「耐えられるか？」が焦点



◆高インフレは継続へ、株式市場は「1980 年」が参考に



◆中長期視点では業績拡大を支えにテクノロジー株高が続いてきた



◆2022 年は年末にかけて戻りを試す展開を想定



◆日本企業の「稼ぐ力」は高まっている



◆日本株相場を取り巻く需給環境は「悪くない」



◆「行き過ぎた」円安進行はリスク要因に



◆個別株は「選別」がより重要な局面に

国内企業の利益は高水準を維持

<日経平均株価と経常利益（全産業）>

